

# 汲古書院／中古文学会学会員限定特価販売のご案内

お申込み期限：2020年7月31日

お届け価格：全品20%引

お申込み方法：本FAX注文書・Eメールにて直接小社までお申し込み下さい。

お届け方法：受注後2～5日以内に宅急便にてお届け致します。時間指定も可能です。

送料・振込手数料：購入総額一万円以上は送料・振込手数料サービス。

未滿は送料実費370円～700円と振込手数料が必要です。

お支払い方法：同封の郵便振替用紙または銀行振込により現品到着後1ヶ月以内にお支払いください。

※公費でのご注文は、手続き終了後で構いません。

メール：[kyuko@fancy.ocn.ne.jp](mailto:kyuko@fancy.ocn.ne.jp) 電話：03-3265-9764 FAX：03-3222-1845

汲古書院営業部行

お申込み日： 年 月 日

書名	著者	刊行年	本体価格	学会価格	注文部数
律令国家と言語文化	土佐秀里	2020年2月	21,000	18,480	
高山寺経蔵の形成と伝承	総合調査団	2020年3月	25,000	22,000	
静嘉堂文庫蔵『懐風藻箋註』本文と研究	土佐朋子	2018年2月	10,500	9,240	
古事記と東アジアの神秘思想	王小林	2018年12月	9,000	7,920	
万葉集と東アジア世界 上	川勝守	2020年3月	6,000	5,280	
日本文化研究における歴史と文学	柳沢昌紀	2020年3月	4,000	3,520	
『毛詩』の文獻學的研究	藪敏裕	2020年2月	13,000	11,440	
六朝書翰文の研究	福井佳夫	2020年3月	15,000	13,200	
白樂天研究—詩語と修辭—	埋田重夫	2020年3月	13,000	11,440	
全譯三國志⑥「蜀書」	渡邊義浩	2019年11月	12,000	10,560	
全譯三國志①～⑤・⑦～⑨	渡邊義浩			各20%引	
訳注 荆楚歳時記	中村裕一	2019年12月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事①〔春〕	中村裕一	2009年1月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事②〔夏〕	中村裕一	2009年10月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事③〔秋〕	中村裕一	2010年10月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事④〔冬〕	中村裕一	2010年8月	12,000	10,560	
中国古代の年中行事⑤〔補遺・索引〕	中村裕一	2018年12月	12,000	10,560	

\* その他、ご希望書籍がございましたらお知らせ下さい。

お名前

〒

TEL

ご住所（お届け先）

購入区分：私費／公費（書類の宛名・必要通数をご記入ください。）

日付：要・不要

書類の宛名：

見積書 通・納品書 通・請求書 通

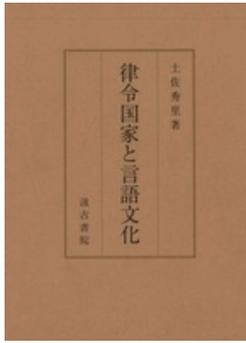
律令国家形成期の言説を読み解き、政治・文化の双方向から時代の精神を明らかにする！

# 律令国家と言語文化

土佐秀里 著

A5判上製・906頁・本体価格21,000円

ISBN978-4-7629-3645-6 C3091 2020年2月刊



## 【主要目次】

序章 律令国家と言語文化

「言語の自立性」と歴史記述の可能性／氏族制と律令制／律令的思考

第一章 文字の思考

文字の倒錯『古事記』序文／断片と縫合『古事記』上巻／書物のフエティシズム／漢字と倭歌／歌の記載と価値／東歌と仮名表記

第二章 「感情」の発見 斉明朝・天智朝

天皇挽歌の生成／言語呪術の臨界 天智挽歌群／天智朝の詩宴と倭歌 額田王「春秋競憐判歌」／天智朝の祭祀と倭歌 額田王「三輪山歌」／紫草のほへる妹 「蒲生野遊獵歌」／「近江天皇を思ふ歌」存疑／額田王の「位置」／〈恋愛〉の発見

第三章 「神話」と儀礼の創出／解体 天武朝・持統朝天」と「国」と「海」 舒明天皇「望国歌」／儀礼言語の形成と持統朝／「戦後文学」としての柿本人麻呂／人麻呂登場／神話と儀礼の解体 柿本人麻呂「石中死人歌」／人麻呂挽歌の〈語り〉と視点／「無常の雲」と「神仙の雲」 弓削皇子「遊吉野歌」

第四章 「大宝律令」前後 文武朝・元明朝

大新高市麻呂の復権／文武朝の行幸と「上林」／文武天皇の述懐詩と詠物詩／文武天皇「御製歌」存疑／大宝元年の長意吉麻呂／遣唐使山上憶良の日本回帰／孤独な女帝の肖像 元明天皇とその御製

第五章 律令官人の夢想と現実 元正朝・聖武朝

不比等から旅人へ／夜の従駕者 山部赤人「吉野讃歌」／天平元年の班田と万葉集／藤原麻呂贈歌三首の〈神話〉／饗宴と無常 大伴坂上郎女「宴親族歌」／高橋虫麻呂の女性幻想／東国幻想 「詠勝鹿真間娘子」

「詠上総末珠名娘子」／家持と童女

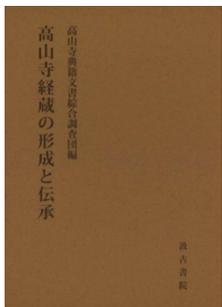
◎高山寺典籍文書綜合調査団五十周年記念出版！

# 高山寺経蔵の形成と伝承

高山寺典籍文書綜合調査団 編

B5判・536頁・本体価格25,000円

ISBN978-4-7629-3646-3 C3015 2020年3月刊



## 【主要目次】

序文—小川義章師覚書類の概要と翻刻—歴代住職関連記調査団五十周年記念出版に寄せて—

緒言 高山寺典籍文書綜合調査団代表 石塚晴通

## 第一部 論考篇

コデイコロジ—より見たる高山寺本— 石塚晴通  
高山寺蔵空海撰述書の古写本・古刊本について 月本雅幸

玄法寺儀軌における敬語待遇表現の諸相  
—院政期の東大寺点加資料二種— 松本光隆

『雑筆集』所収の教化の文体 山本真吾  
高山寺の古辞書音義 池田証寿

江戸時代における高山寺の諸相  
—僧侶の事績を中心に— 徳永良次  
中世初期旧仏教寺院における文字生活  
—明恵上人とその周辺を例として— 矢田 勉

高山寺蔵『打聞集』について 磯貝淳一  
—仮名表記自立語の検討を中心に—

『脩華嚴奥旨安盡還源觀』の刊行  
—印刷方法と訓読方針の関係について— 白井 純

## 第二部 資料篇

高山寺蔵論語集解（清原本・中原本） 解題・影印  
高山寺蔵『法華経義疏第一』 解題・影印 石塚晴通・小助川貞次

高山寺蔵「観智記」鎌倉時代中期写本 古田恵美子  
題並びに翻字本文 土井光祐・金水 敏

高山寺本『受法用心集』解題・翻刻 末木文美士  
金剛般若経依天親菩薩論贊略积奏本義記 解題・影印 池田証寿

小川義章師覚書類の概要と翻刻  
—歴代住職関連記事を中心に— 大槻 信・山中延之  
あとがき 池田証寿

高山寺典籍文書綜合調査団名簿

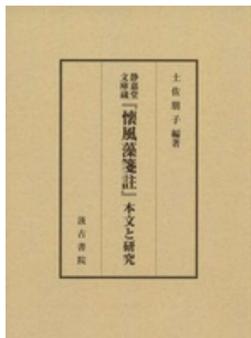
現存最古の懐風藻注釈書を影印・翻刻し、初公刊——その特徴と成立の背景を明らかにする！

# 静嘉堂文庫蔵『懐風藻箋註』本文と研究

土佐朋子 編著

A5判・404頁・本体価格10,500円

ISBN978-4-7629-3637-1 C3095 2018年2月刊



## 【主要目次】

まえがき／凡 例

## 本文篇

解題 書誌と伝来／作者と成立／構成と形式

／本文の性質／注釈の特徴と意義

影印（＊利用の便から、詩・詩序・伝記に対し、

影印・翻刻共通の番号を上部欄外に付した。）

## 翻刻

## 研究篇

第一章 『懐風藻箋註』と鈴木真年

―新資料『真香雜記』の「今井舎人」―

第二章 今井舎人と鈴木真年

―鈴木真年伝の新資料―

第三章 鈴木真年の知的環境

第四章 書誌と伝来

第五章 『懐風藻箋註』と群書類従本『懐風藻』

第六章 『懐風藻箋註』本文の性格

第七章 『懐風藻箋註』引用典籍一覧および考証

第八章 『懐風藻』版本書入二種

―河村秀根・慈本書入本の紹介と翻刻―

第九章 狩谷掖斎書入『懐風藻』

―川瀬一馬「狩谷掖斎著

『懐風藻校注』―修正―

初出一覧／あとがき／

索引（人名・神名索引／書名・文献名索引）

（平成29年度日本学術振興会助成図書）

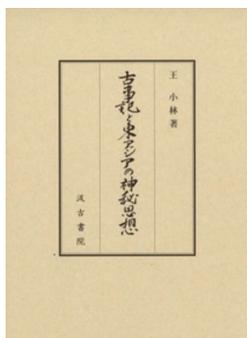
『古事記』を古代東アジアの文化交流というコンテキストの中で考察する

# 古事記と東アジアの神秘思想

王 小林 著

A5判・356頁・本体価格9,000円

ISBN978-4-7629-6620-0 C3090 2018年12月刊



## 【主要目次】

まえがき／凡例

第一章 『古事記』と緯書

『古事記』成書の謎／反正記の小さな糸口／

神々の風貌／各種文献に見る異常な歯／『日

本書紀』の天皇描写／古代中国の異常風貌／

反正記の表現と緯書／「貫珠」が意味するも

の／『古事記』における異常風貌説の機能／

記紀における緯書の受容（神武東征伝承と緯

書）／「ながびと」考―建内宿禰伝承と讖緯

思想／『懐風藻』の場合

第二章 『古事記』と朝鮮史料

反正記と尼師今伝説／朝鮮史料・渡来説話と

緯書／脱解王伝承が語るもの／骨品と緯書／

『三国史記』に見る井戸と龍／『三国遺事』に

見る龍／井戸と王権・符命／井戸、池、川、

海と崑崙の水界

第三章 『古事記』と神仙思想

瑞井と変若水・醴泉と天つ水／上代文献に見

る井戸／孤立した仙境／「登岐士玖能迦玖能

木実」伝承の意味／洞天・地脈・水界を持た

ぬ日本の龍／龍との関係を絶たれる反正天皇

／龍と「天つ日嗣」の天下／龍と革命の思

想／異常風貌説の変容―「長人」から土蜘蛛・

酒吞童子へ／古代東アジアにおける神秘思想

のあり方

第四章 『古事記』と『帝王世紀』

『古事記』は歴史書か／『古事記』の核心は何

か／「帝紀」とは何か／反正記と『帝王世紀』

の接点 五 『帝王世紀』の歴史叙述／『帝

王世紀』の内容構成と『古事記』／『帝王世

紀』の源流―葉書・牒／『帝王世紀』の達

成／『帝王世紀』の生成論と緯書／「有聖徳」

の継承、発揚と緯書／『古事記』の生成論と

緯書／『古事記』の文章表現と『帝王世紀』

／『上宮聖徳法王帝説』の場合／太安万侶が

果たした使命

参考文献／あとがき／人名索引

万葉歌人はいかなる環境において歌を詠んだのか—万葉集の「漢字表記」や「漢字のよみ」を東アジアの国際的環境との関連で見直す！

# 万葉集と東アジア世界 上

川勝 守 著

A5判・532頁・本体価格6,000円

ISBN978-4-7629-6653-8 C3321 2020年3月刊

## 【内容目次】

はじめに／凡 例

第一章 日本古代国家の成立と東アジア世界

―万葉集巻一について―

第二章 飛鳥藤原期の政治変動と土婚及び葬送儀

礼―万葉集巻二の相聞・挽歌について―

第三章 律令文武官人の任務と作歌活動

―万葉集巻三の雑歌・譬喩歌・挽歌について―

―

第四章 日本型相聞歌と律令文武官人の作歌活動

―万葉集巻四の相聞歌について―

第五章 遠の朝廷大宰府・九州官人の作歌と東アジア世界

―

第六章 奈良京朝廷官人の公務と作歌

第七章 万葉集における宮廷歌の古典とその分類

その一

第八章 万葉集における宮廷歌の古典とその分類

その二

第九章 万葉集における宮廷歌の古典とその分類

その三

『万葉集と東アジア世界』上巻のあとがき

万葉集読み方用例索引

（「万葉集特別漢字用語索引」

「万葉仮名、二字以上語句索引」

「短漢文語句索引」

索引（「件名事項索引」

「件名・動物索引」「件名・植物索引」

「人名索引」「地名索引」ほか）

# 日本文化研究における歴史と文学

——双方の視点による再検討—— 中京大学文化科学叢書21

柳沢昌紀 編著

A5判並製カバー・224頁・本体価格4,000円

ISBN978-4-7629-3648-7 C3091 2020年3月刊

## 【内容目次】

第一部 合戦を記す

甫庵『信長記』寛永元年版における片仮名

活字本版下利用の実態

―巻第一を例として― 柳沢昌紀

天正三年武田勝頼岡崎攻落作戦

―神官家記「嶋呂家根元慶図記」の検討―

村岡幹生

第二部 合戦と文事

『東国紀行』にみる戦国時代の交通・宿泊

事情 山田邦明

細川藤孝と三条西実枝（実澄）

―連歌作品に見る戦国の合戦と古今伝受―

鶴崎裕雄

関ヶ原の戦と古今伝受

―勅命による開城をめぐる― 小高道子

第三部 絵巻をめぐる

説話集と絵巻の鑑賞方法

―朗読から読書へ― 藤本孝一

岩佐又兵衛の芸能観

―浄瑠璃愛好者としての側面― 深谷 大

第四部 歴史と文学の間

鳥丸光栄の関歴と和歌活動 中川 豊

歴史における「日常」の発見

―大河ドラマ・時代劇・司馬文学と戦後

歴史学― 小川和也

『近代浅野忠臣詩歌尽』解題・翻刻 飯野朋美

あとがき

執筆者紹介



最新の『詩経』学のあり様を提示する！

# 『毛詩』の文獻學的研究

藪 敏裕 著

A5判・464頁・本体価格13,000円

ISBN978-4-7629-6658-3 C3010 2020年2月刊

## 【内容目次】

第一章 『毛序』について

『毛序』成立考―古文學との比較を中心として―／『詩』の原義と『郭店楚墓竹簡』茲衣篇―『毛序』の都人士篇解釋を中心として―／『上博簡一』「孔子詩論」から見た『毛詩』齊風の詩意―東方未明篇と猗嗟篇を中心として―／『清華簡一』金縢篇所見の周公の事績と爾風『毛序』／『毛序』研究の現状について―鈴木説・猪口説批判―／『毛序』研究の近況と課題

第二章 『毛傳』について

「王事靡盬」解釋から見た『毛傳』の訓詁態度／『詩経』施丘篇解釋から見た『毛傳』の訓詁態度／『詩経』征役詩解釋から見た『毛傳』の訓詁態度／『詩経』解釋史序説―關雎篇の經學的解釋とその評價をめぐる―

第三章 『毛詩』について

三家詩と『毛詩』―關雎篇を中心として―／『上博簡一』「孔子詩論」所引の詩解釈―周頌・清廟之什・清廟篇を中心として―／『上博簡一』「孔子詩論」の甘棠篇解釋から見る詩の成立／『上博簡一』から見た『毛詩』に見える「緝熙」の解釋／『清華簡一』旨卞（耆）夜篇に見える「誦」と「訶」の解釋

第四章 『詩経』に關わるその他の諸問題

『鹽鐵論』詩說研究／『詩経』周頌・清廟之什に見える祖靈祭祀について／『詩経』に見える祖靈―周頌・清廟之什の祖靈祭祀を中心に―／天作篇と我將篇理解から見る荀子詩説の『詩経』解釋史上の意義

虚実を見極め真意を読み解く一分かりやすい解説と流麗な訳文でつづる文学としての書翰文研究

# 六朝書翰文の研究

福井佳夫 著

A5判・608頁・本体価格15,000円

ISBN978-4-7629-6651-4 C3098 2020年3月刊

## 【内容目次】

第一章 作家の簡潔な注釈たりうるか

―書翰文の概観―

第二章 友と清宴をたのしもう

―曹丕「与呉質書」を中心に―

第三章 書翰の名手はわしじや

―庾璩の書翰文―

第四章 二流の書翰で失敬

―王羲之の書翰と尺牘―

第五章 書翰は文学であります

―鮑照「登大雷岸与妹書」を中心に―

第六章 裏をよまねばならぬぞ

―劉孝儀の「北使還与永豊侯書」―

第七章 皇太子がお便りします

―蕭統蕭綱兄弟の書翰文―

第八章 構成は三段できめよう

―美文書翰の書式―

第九章 これが書翰のお手本じゃ

―「十二月啓」訳注―

第十章 書翰は気どつてかこう

―王褒「与周弘讓書」を中心に―

第十一章 母さまにお会いしたい

―宇文護母子の書翰文―

第十二章 臣にならぬか―招隱書翰―

索引





『白居易研究—閑適の思想』の続編、言語表現と修辭技法について考察した初の論考なる！

# 白樂天研究 ——詩語と修辭——

埋田重夫 著

A5判・528頁・本体価格13,000円

ISBN978-4-7629-6656-9 C3398 2020年3月刊

【内容目次】  
口繪・はしがき・凡例

【序論】白居易「新樂府五十首」の修辭技法

【本論Ⅰ】詩語の諸相  
第一章 白居易「新豐折臂翁」詩について

第二章 老人の描寫が意味するもの

第三章 一日の時間表現を中心にして

第四章 白居易詩における俗語用法に關連させて

第五章 白居易詩にみられる「誰家」をめ

第六章 白居易詠花詩論考

第七章 白居易「病中哭金鑾子」詩考

第八章 白居易「念金鑾子二首」が意味するもの

第九章 「理」と「知」の用法を中心にして

第十章 白居易「效陶潛體詩十六首」の修辭技法

第十一章 白居易の數字表現について

第十二章 再び白居易の數字表現について

第十三章 白居易詩における連鎖表現

第十四章 白居易と韓愈の聯句詩について

第十五章 白居易における五絶と七律の對立性をめぐって

第十六章 白居易の五言絶句について

第十七章 白居易七言律詩考

第十八章 白居易「長恨歌」の修辭技法

対偶と連鎖の物語

あとがき・論文初出一覽・

『那波道圓本白氏文集』引用作品編目索引

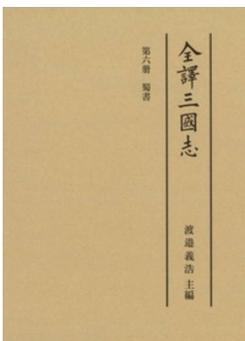
『全譯後漢書』につづく、正史『三国志』の完全現代語訳！

# 全譯三国志 本卷八冊・別卷一

渡邊義浩 主編

〔第一回配本〕 第六冊 蜀書

B5判・660頁・本体価格12,000円 ISBN978-4-7629-6646-0 C3322 2019年11月刊



【全九冊 内容目次】

第一冊 魏書(一)  
解題／上三国志注表／武帝紀第一／文帝紀第二

第二冊 魏書(二)  
／明帝紀第三／三少帝紀第四

第三冊 魏書(三)  
／后妃傳第五／董二袁劉傳第六／呂布張邈臧洪傳第七／二公孫陶四張傳第八

第四冊 魏書(四)  
／諸夏侯曹傳第九／荀彧荀攸賈詡傳第十／袁張涼國田王邴管傳第十一／崔毛徐何邢鮑司馬傳第十二／鍾繇華歆王朗傳第十三／程郭董劉蔣劉傳第十四

第五冊 魏書(五)  
／劉司馬梁張溫賈傳第十五／任蘇杜鄭倉傳第十六／張樂于張徐傳第十七／二李臧文呂許典二龐閻傳第十八／任城陳蕭王傳第十九／武文世王公傳第二十／王衛二劉傳第二十一／桓二陳徐衛盧傳第二十二／和常楊杜趙裴傳第二十三

第六冊 蜀書  
／韓崔高孫王傳第二十四／辛毗楊阜高堂隆傳第二十五／滿田牽郭傳第二十六／徐胡二王傳第二十七／王卞丘諸葛鄧鍾傳第二十八／方技傳第二十九／烏丸鮮卑東夷傳第三十

第七冊 吳書(一)  
／劉二牧傳第一／先主傳第二／後主傳第三／二主妃子傳第四／諸葛亮傳第五／關張馬黃趙傳第六

第八冊 吳書(二)  
／龐統法正傳第七／許糜孫簡伊秦傳第八／董劉馬陳董呂傳第九／劉彭廖李劉魏楊傳第十／霍王向張楊費傳第十一／杜周杜許孟來尹李譙郤傳第十二／黃李呂馬王張傳第十三／蔣琬費禕姜維傳第十四／鄧張宗楊傳第十五

第九冊 吳書(三)  
／孫破虜討逆傳第一／吳主傳第二／三嗣主傳第三／劉繇太史慈士燮傳第四／妃嬪傳第五／宗室傳第六／張顧諸葛步傳第七／張嚴程闞薛傳第八／周瑜魯肅呂蒙傳第九／程黃韓蔣周陳董甘凌徐潘丁傳第十

第十冊 吳書(四)  
／朱治朱然呂範朱桓傳第十一／虞陸張駱陸吾朱傳第十二／陸遜傳第十三／吳主五子傳第十四／賀全呂周鍾離傳第十五／潘濬陸凱傳第十六／是儀胡綜傳第十七／吳範劉惔趙達傳第十八／諸葛滕二孫濮陽傳第十九／王樓賀章華傳第二十

別卷 三国志研究備要

三國志研究備要

現行本『荆楚歳時記』は杜公瞻の編著書であった！千数百年の時を経て新事実が明らかに

# 訳注 荆楚歳時記

中村裕一 著

A5判・520頁・本体価格12,000円

ISBN978-4-7629-6639-2 C3022 2019年12月刊

『荆楚歳時記』は荆楚地方の年中行事に加えて、六世紀の華北の年中行事が記載されており、七世紀の中国の歳時風俗を大観するのに好都合であったからである。古代日本も隋唐から「令」を受け入れ、「令」に基礎を置く当時における近代国家の形成に努めていた。「令」には皇帝支配とそれに関連する年中行事があり、唐国の学習と「令制」に基づく天皇支配制に附随する年中行事を確立するために、『荆楚歳時記』を教本の一として必要としたのである。

## 【本書の構成】

- 『荆楚歳時記』の記事は、陳継儒（1558～1639）の「宝顔堂秘笈広集」本に従う。
- 『荆楚歳時記』の記事は約五〇条から構成され、このうちで一記事を二記事に分割した記事もある。
- 最初に『荆楚歳時記』の原文を示し、次に読み下し文を示し、次に注記を掲げる。
- 各記事は、読み下し文と語彙の注解からなり、記事の内容や成立する背景を述べる箇所はない。それゆえに、「附節」の項を加え、記事の背景を理解しやすいように配慮した。既刊の『中国古代の年中行事』の当該箇所と併読してもらえれば、各行事の由来や後世の展開がよく理解できると考えた。

待望の総合索引なる——全五冊完結！

# 中国古代の年中行事 全五冊

中村裕一 著

A5判・平均850頁・本体価格各12,000円

ISBN978-4-7629-2856-7～2859-8、6621-7 C3022

【『中国古代の年中行事』第五冊〔補遺〕収録 総合索引 凡例】

- (1) 本索引は『中国古代の年中行事』春冊・夏冊・秋冊・冬冊および補遺冊（本冊）の総合索引である。
- (2) 「春冊」を①、「夏冊」を②、「秋冊」を③、「冬冊」を④、「補遺冊」を⑤として、冊数を示した。
- (3) 項目の配列は漢字単位の五十音順とした。
- (4) 複数のよみ方が想定される項目は、それぞれのよみを該当するところに配した。
- (5) 「補遺冊」食忌の項目は、例えば「猪肉と魚」の場合は、「魚と猪肉」でも検索できるように按配した。

## 【本書の特色・意義】

- ◎ 隋唐公文書研究の第一人者による詳細な史料考証から、中国古代の年中行事を具体的に説明。中国史料…『玉燭宝典』『荆楚歳時記』『藝文類聚』ほか
- ◎ 日本史料…『入唐求法巡礼行記』『行歴抄』『年中行事秘抄』『令義解』『医心方』など
- ◎ 人名や難読漢字にはルビを振り、引用漢文には口語訳を添えた。コンピューターを駆使した語彙集成果。
- ◎ 王朝の交替をもたらす社会構造の変化や、文字を持たない古代民衆の風俗や生活の実体が明らかに。
- ◎ 中国古代の年中行事の解明は、日本の古代国家制度・年中行事研究に貴重な史料を提供する。

訳注 荆楚歳時記



中村裕一 著

12000円

中国古代の年中行事



中村裕一 著

12000円